

証券コード：5013

# 第93期 報告書

2025年4月1日 ▶ 2026年3月31日

*The Way Of Mutual Progress*

## 時代とともに、顧客とともに。

「共々の道」という理念をカタチに。

### The Way Of Mutual Progress

油(ユ)・脂(シ)・蠟(ロ)を主原料とする化学技術と、独自のブレンド技術を駆使し、戦後いち早く復興した繊維産業への経糸糊付用油剤を皮切りに、自動車産業・鉄鋼産業への金属加工油剤やビルメンテナンス業界に向けたケミカル製品など、時代を先取りする製品を開発・供給することで、わが国基幹産業の発展に貢献してきました。

創業者の提唱した企業理念「共々の道」は、お客様とユシロの、地域社会とユシロの、そして社員とその家族とユシロの「共々の道」であり、この理念によって、お客様の深い信頼と温かいご愛顧を頂けたものと信じております。

「共々の道」は80年の時空を越えて全社員の中に生き続いており、今後も永遠に受け継いでまいります。

#### 企業理念 共々の道

##### 社 是

1. 独自の風格ある製品
2. 間口よりも奥行きのある研究
3. 進歩は常に需要と共に

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第93期の事業の概況についてご報告申し上げます。

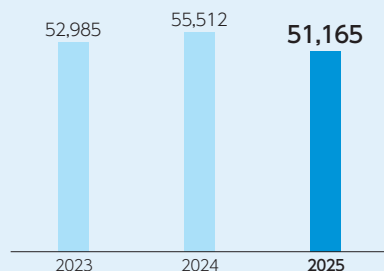


代表取締役社長  
社長執行役員  
有坂 昌規

## 連結財務ハイライト

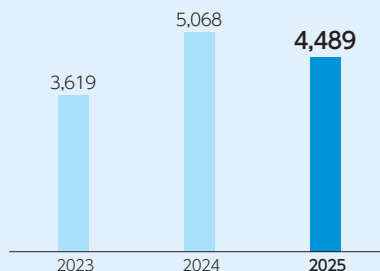
### 売上高

(単位：百万円)



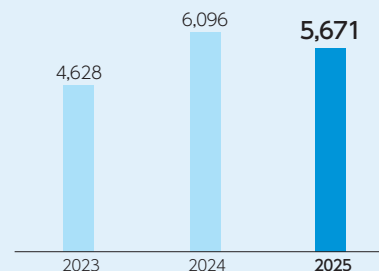
### 営業利益

(単位：百万円)



### 経常利益

(単位：百万円)



## 事業の概況

当連結会計年度における世界経済は、米国の金融政策及び通商政策の動向に対する不透明感が継続し、ロシアによるウクライナ侵攻や中東地域における国際紛争の長期化により、景気の先行きにも依然として不透明感が残る中、イランを巡る地政学的緊張の高まりを背景に原油価格の上昇圧力が強まり、エネルギー市場の不安定さが一層意識されました。日本経済は緩やかな回復基調を維持したものの、物価上昇の継続や為替相場の変動、海外経済の不透明感に加え、中東情勢の緊張に伴うエネルギー価格の動向など、引き続き注視すべき要因が存在しています。

このような経済環境のもと、当社は中期経営計画『EXPLORER PLUS』の2年目として、同計画の目標達成に向け、各種施策を着実に取り組んでおります。主要顧客である自動車メーカー及び自動車部品メーカー向け製品につきましては、様々なコスト上昇要因に対応し採算性の確保を図るとともに、EV化の進展や顧客のESG志向を見据えた新製品の拡販・投入を積極的に進めております。また、非自動車分野においては、今後の需要拡大が見込まれる航空機分野への展開を強化するとともに、新規事業として光触媒（ヒカリアクション）や自己修復性素材といった新商材の事業化にも取り組んでおります。あわせて、IT基盤の強化やDXの推進、人材育成や組織体制の整備など、中長期的な視点に立った戦略的な投資にも着実に取り組んでおります。これらを通じて、企業価値の向上と持続可能な成長を目指してまいります。

当連結会計年度における売上高は、日本と東南アジア/インド地域で売上高が増加したものの、中国合併会社を連結範囲から除外し持分法適用関連会社化したことにより、前期比7.8%減の51,165百万円となりました(中国を除くと前期比0.8%増)。営業利益は、原材料価格が低下傾向で推移したものの、経費及び

人件費の増加に加え、中国合併会社の連結除外の影響により、前期比11.4%減の4,489百万円となりました(中国を除くと前期比2.7%減)。経常利益は、シンジケートローンの更新に伴う手数料を計上したこと等により、前期比7.0%減の5,671百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券売却益を計上したこと等により前期比11.0%増の4,789百万円となりました。

## 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

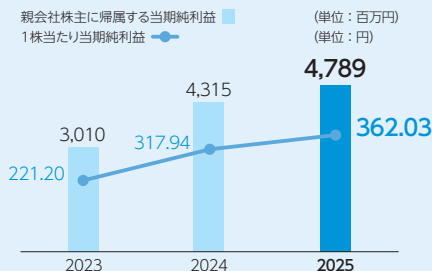
企業価値向上と持続的な成長に繋がる投資を優先的に実行することが結果としてステークホルダー共通の利益に資する考えに加え、株主に対する利益還元についても経営の重要施策とし、安定的・持続的に配当を行うことを方針とし配当性向を30%以上とします。

期末配当金につきましては、2026年3月期業績を踏まえ、82円とすることを決議いたしました。この結果、1株当たりの年間配当金は、中間配当金と合わせて112円となりました。

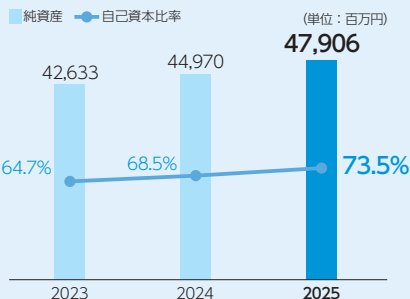
### ▶▶ 2027年3月期連結業績予想

	来期予想	当期実績
売上高	52,200百万円	51,165百万円
営業利益	4,050百万円	4,489百万円
経常利益	5,150百万円	5,671百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	3,900百万円	4,789百万円
1株当たり当期純利益	304.10円	362.03円
年間配当金	未定	112円

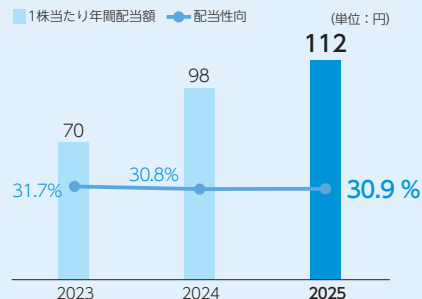
### 親会社株主に帰属する当期純利益／1株当たり当期純利益



### 純資産／自己資本比率



### 1株当たり年間配当額／配当性向



## セグメント ハイライト

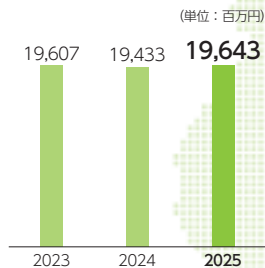
中国セグメントにおいては上海の連結除外による影響により前期と比較して減収減益、インドセグメントにおいては販売が好調、原価低減効果もあり増収増益となりました。

## 日本

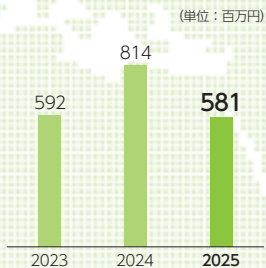
売上高構成比  
**38.4%**

市場全体では、国内自動車生産が総じて伸び悩む状況が続く中、販売価格の改定や拡販に取り組んだ結果、売上高は前期比でやや増加しました。一方で、原材料費は落ち着きを見せたものの、経費や人件費増の影響により、営業利益は前期比で減少しました。

### 売上高



### セグメント利益(営業利益)



### 連結子会社

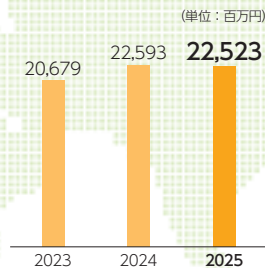
- トランスケム株式会社
- ユシロ・ゼネラルサービス株式会社

## 南北アメリカ

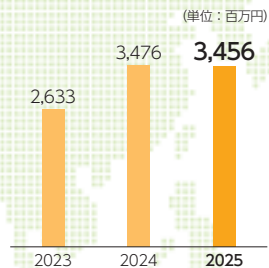
売上高構成比  
**44.0%**

非自動車分野向けの需要は比較的堅調に推移したものの、期初において関税政策の動向を見極める動きが広がり、日系自動車メーカーによる生産・在庫の調整が進められた影響から、売上高は前期比でわずかに減少しました。また、原材料価格が低下傾向で推移したものの、経費や人件費増の影響により、営業利益は前期比でわずかに減少しました。

### 売上高



### セグメント利益(営業利益)



### 連結子会社

- ユシロマニュファクチャリングアメリカInc. [米国]
- クオリケム Inc. [米国]
- ユシロドブラジルインダストリアケミカLtda. [ブラジル]
- ユシロメキシコS.A. de C.V. [メキシコ]

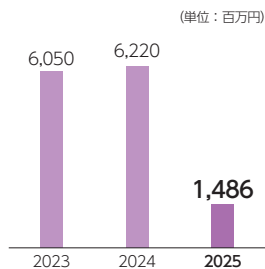
持分法適用関連会社 …………… 上海尤希路化学工業有限公司 [中国] (第2四半期から) 如東尤希路化学工業有限公司 [中国] 汎宇化学工業株

日本・南北アメリカセグメントにおいてはコスト増加等により減益となりました。一方で、東南アジア／

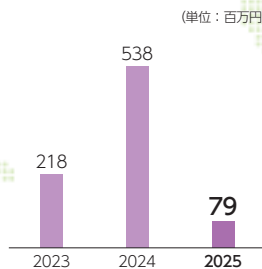


前期は、上海尤希路化学工業有限公司及び如東尤希路化学工業有限公司の2社の業績を連結して計上していました。一方、当期の売上高及び営業利益には、両社の連結除外による持分法適用関連会社化により上海尤希路化学工業有限公司の第1四半期分(3か月分)のみを計上しております。

### 売上高



### セグメント利益(営業利益)



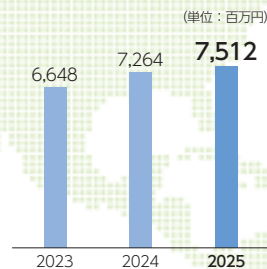
#### 連結子会社

- 上海尤希路化学工業有限公司[中国]  
(第1四半期のみ)

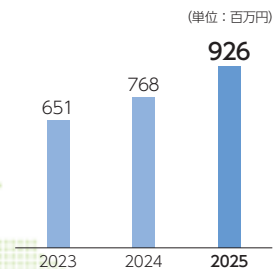


一部地域では、金利の高止まりや景気減速の影響を受けて自動車販売が伸び悩みましたが、新規顧客の開拓や既存顧客向けの拡販が進展したほか、二輪車向けの需要が引き続き堅調に推移したことから、地域全体では売上高は前期比でやや増加しました。加えて、原材料の見直しや生産効率の改善などの原価低減施策が寄与したことから、営業利益は前期比で増加しました。

### 売上高



### セグメント利益(営業利益)



#### 連結子会社

- ユシロマレーシアSdn.Bhd.[マレーシア]
- ユシロ(タイランド)Co.,Ltd.[タイ]
- サイアムシー・ビー・ケミカル Co.,Ltd.[タイ]
- ユシロインドアカンパニーPvt.Ltd.[インド]
- PT. ユシロインドネシア[インドネシア]

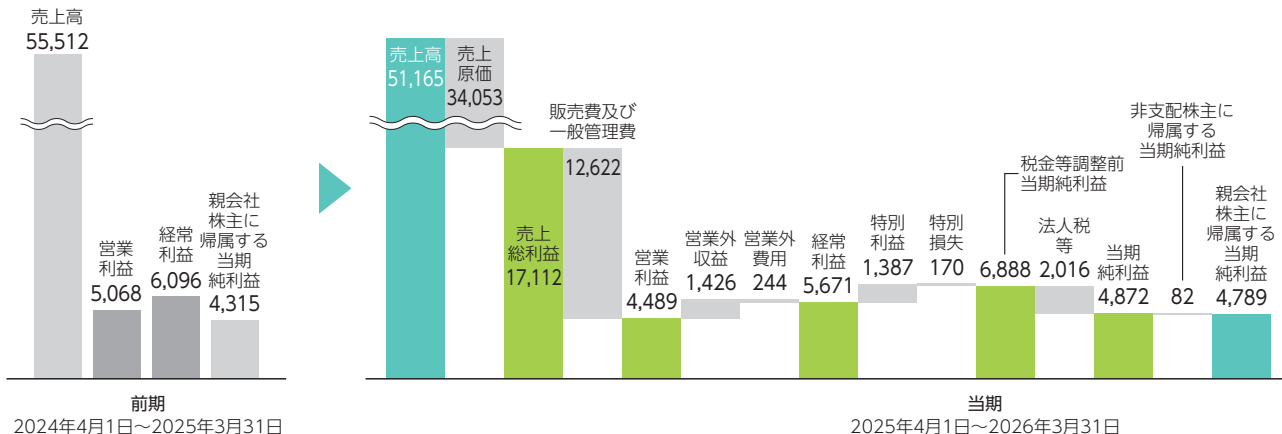
式会社[韓国] 三宜油化股份有限公司[台湾]

# ○ 連結財務諸表

※金額は、百万円未満を切捨表示しております。

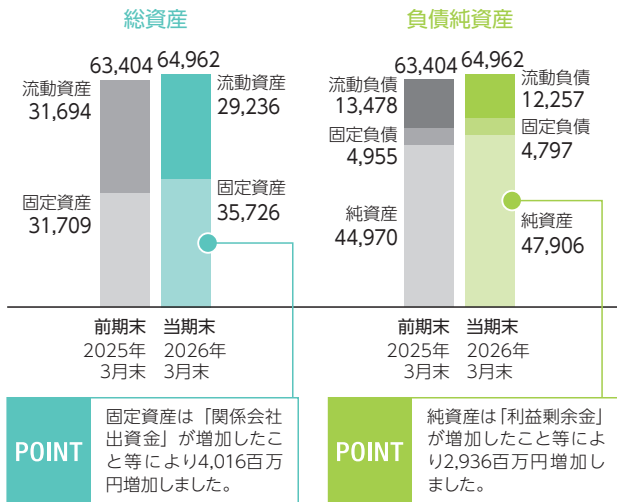
## 連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



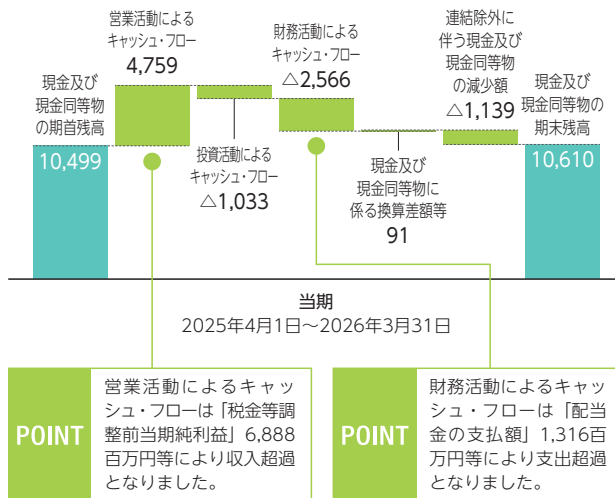
## 連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



# ○ 会社概要・株式の状況 (2026年3月31日現在)

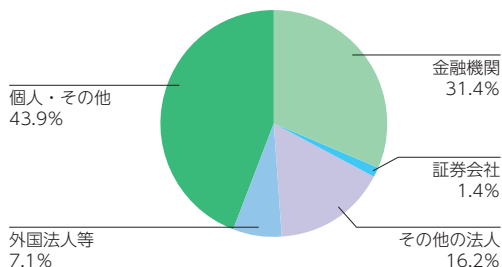
## ■ 会社概要

社名	株式会社ユシロ YUSHIRO Inc.
本社所在地	〒146-8510 東京都大田区千鳥2-34-16 TEL (03) 3750-6761 FAX (03) 3750-1146
ホームページ	<a href="https://www.yushiro.co.jp/">https://www.yushiro.co.jp/</a>
設立	1944年(昭和19年)7月24日
資本金	4,249百万円
従業員数	362名(連結862名)
当社グループの 主な製品等	金属加工油剤関連 切削油剤、研削油剤、塑性加工油剤、アルミ離型剤、 金属表面処理剤、水処理剤、その他関連製品  ビルメンテナンス関連 樹脂ワックス、洗剤、その他関連製品及び機器

## ■ 株式の状況

発行可能株式総数	29,180,000株
発行済株式数	13,900,065株
株主数	6,426名

### 所有者別株式分布状況



## ■ 役員 (2026年6月23日現在)

代表取締役社長 社長執行役員	有坂 昌規
取締役常務執行役員	高橋 誠司
取締役常務執行役員	高倉 一利
取締役執行役員	小林 一重
取締役*	倉本 泰
取締役(監査等委員)*	飯塚 佳都子
取締役(監査等委員)*	杉山 敦子(現姓 松本)
取締役(監査等委員)	石川 拓哉

\*は社外取締役です。

## ■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,843	14.15
日本生命保険相互会社	1,057	8.11
ユシロ取引先持株会	985	7.56
スズキ株式会社	549	4.21
株式会社三井住友銀行	518	3.98
ユシロ従業員持株会	465	3.57
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	452	3.47
株式会社三菱UFJ銀行	316	2.42
長瀬産業株式会社	243	1.87
今川和明	209	1.61

※当社は、自己株式875千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。  
また、持株比率は、自己株式を除いて算出しております。

## ■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会の基準日	3月31日
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公告方法	電子公告とし、当社ホームページ( <a href="https://www.yushiro.co.jp/">https://www.yushiro.co.jp/</a> )に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

### ○住所変更、単元未満株式の買取り等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、株券電子化に際して、株券を証券会社の口座に入庫しなかった等の理由により、特別口座において管理されている株式につきましては、特別口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社が住所変更等のお申出先となります。

本件に関するお問い合わせ先は、左記株主名簿管理人となります。

### ○未払い配当金の支払いについて

三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ホームページのご案内

当社ホームページでは、当社の事業をよりご理解いただけるよう、事業内容に加え、技術情報、IRなど、様々な情報を掲載しております。ぜひ一度ご覧ください。



ユシロ

検索

<https://www.yushiro.co.jp/>



UD FONT

この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。見やすく読みまちがいにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。